

平成22年
第1回市議会(臨時会)

会期2月15日

会期中に補正予算案1件(原案可決)、条例案2件(原案可決)の審議をしました。また、その他1件の報告を受けました。

審議の概要は次のとおりです。

総務文教委員会に付託された議案

○平成21年度大竹市一般会計補正予算(第8号)

1億1千200万円増額

Q 乳幼児等医療費支給制度は、定住促進の観点、また米軍再編交付金の恩恵を等しく受ける意味から、受給者の所得制限を撤廃する考えはないか。

A 所得制限は、県の制度に準じている。動向など見ながら考えたい。

Q 今回提案された「乳幼児等医療費支給の拡充」と「にこにこ子ども基金」は、不要になった晴海の道路建設費などの代わりの制度か。

A この提案は定住促進アクションプランとして新年度に向け検討すべ

き案件と考えていた。今回、再編交付金の留保財源を活用した。

Q 今年度の一般会計予算は、緊急雇用対策などの影響で155億円まで膨らんだ。新年度に向けての予測について伺う。

A 国の経済対策などの補正予算等に対応した例外的な年であった。新年度については現行の制度の中で予算編成を考えている。

委員会での討論

賛成

「今まで子育て支援等をやってきたが、将来的に制度を継続し、さらに制度を拡大していくことを要望する。」

採決の結果、本議案は原案のとおり可決



本会議へ

本会議で質疑・討論はなく
原案のとおり可決

生活環境委員会に付託された議案

○大竹市乳幼児等医療費支給条例の一部改正について

○大竹市にこにこ子ども基金条例の制定について

Q 乳幼児医療制度への助成は当分の間となっているが、5年後の予算措置について伺う。

A 行財政改革等進めながら、この事業は続けていく努力をしたい。

Q 乳幼児等医療費助成制度は、再編交付金を財源としている。安心安全と、交付されることへの考えについて、また基金の用途など適切か。

A その地域がよくなるよう地域振興のために交付される。基金は議会で審議していただき、運用については安全かつ有利に進めている。

Q この制度を中学3年生まで拡充できないか。

A 行政全体のバランスと、今回の制度改正による状況を見て考えたい。

Q 来年度以降も再編交付金を基金として積み立てることはできるのか。

また定住促進を考える中で無料化の検討をしたのか。

A 再編交付金を原資として基金に積み立ては可能である。魅力あるイメージづくりとしては無料化も考えられるが、広く制度を見た時に無料の弊害もあり考慮した。

Q 所得制限をなくしたら、業務コストを減らす事ができるのでは。

A 県の補助制度を活用しているので、事務経費はあまり減少しない。

委員会での討論

賛成

「子どもを育て生みやすい環境づくりに取り組むという姿勢から、一層の充実、制度が維持されることを願っている。」

採決の結果、2議案は原案のとおり可決



本会議へ

採決の結果 原案のとおり可決